

読売新聞 きょう（10月13日）のイチ押し

1面など 大阪市 廃止か存続か 都構想 2度目住民投票告示

大阪市を廃止して4特別区を新設する「大阪都構想」の賛否を問う住民投票が12日告示され、大阪の将来像を決める論戦が始まりました。

- ★ 5年前に続く2度目の住民投票で、11月1日に投開票されます。
- ★ 賛成多数の場合、1956年に制度化された政令指定都市が初めて廃止され、2025年1月1日に特別区に移行。反対多数か同数なら制度案は廃案となります。
- ★ 2面、政治面、社会面で関連記事を掲載したほか、17ページの特別面では「基礎からわかる大阪都構想」として、これまでの経緯や制度案の内容、その賛否などを、わかりやすく解説しています。

第2社会面、文化面 筒美京平さん死去 80歳 作曲家

「また逢う日まで」「ブルー・ライト・ヨコハマ」などの数々のヒット曲を手がけた作曲家の筒美京平さんが7日、誤えん性肺炎で死去しました。80歳でした。

- ★ 筒美さんは東京都出身。レコード会社の洋楽ディレクターを経て、1966年に作曲家としてデビュー。生涯に3000曲弱を作曲、作曲家別のシングル総売上枚数は歴代1位の約7560万枚。オリコンシングルランキング1位獲得作品数は39に上ります。
- ★ 紙面では、歌手の郷ひろみさん、麻丘めぐみさん、作詞家・なかにし礼さんらの談話も掲載しています。

他紙と比べて

10月15日から新聞週間が始まります。今年の標語は「危機のとき 確かな情報 頼れる新聞」です。本日の朝刊では、12ページ～15ページに、4ページにわたる特別面を設けました。新型コロナウイルス禍という未曾有の事態にどう向き合い報道したのか、子供から高齢者まで世代を超えて親しんでもらえる紙面づくりの工夫など、読売新聞の取り組みを紹介しています。